

婦人科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の  
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 卵巣癌における PI3K および MAPK シグナル経路分子の分子病理学的検討

[研究機関] 北海道大学病院 コンパニオン診断研究部門、同病理部、同婦人科

[研究責任者] 畑中 豊（病理部・コンパニオン診断研究部門・特任講師）

[研究の目的] 卵巣癌の新たなコンパニオン診断法（治療の個別化ために行う診断方法）の開発のため、癌の治療標的分子の臨床病理学的意義を明らかにすることを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

卵巣癌の患者さんで、平成 12 年 1 月から平成 21 年 12 月の間に、婦人科で癌組織の切除・採取をうけられた方。

●利用する検体およびカルテ情報

検体：摘出されて残った標本を用い、上記タンパクや遺伝子異常等に関する検査（免疫組織化学検査、FISH 検査等）を行います。

カルテ情報：年齢、性別、喫煙歴、組織型、病期、予後など

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

\*上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 婦人科 担当医師 渡利 英道

電話 011-706-5941 FAX 011-706-7711